

ヌマクロボスゲ(シラカウスゲ)
Carex meyeriana Kunth

カヤツリグサ科
Cyperaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 県内の生育地は泥炭湿原に点在し、自然公園外の生育地は、水田開発や草地開発などでほとんど消滅しており、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 九重火山群

分布域 本州(北～中部) 九州(福岡・佐賀・大分)
朝鮮半島 中国(東北部) 蒙古, アムール, ウスリー, シベリア

生育環境 低山地から山地の泥炭湿原。

現状 かつては、泥炭湿原に広く群生していたが、草地開発や水田開発などで、消滅した所が多い。自然公園内の生育地は、辛うじて保全されている。

備考 ヌマガヤやミズゴケ類を伴う泥炭湿原に群生し、しばしば顕著な谷地坊主をつくる。国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう]

ミタケスゲ

Carex michauxiana Böckl.
var. *asiatica* (Hult.) Ohwi

カヤツリグサ科
Cyperaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 泥炭湿原に生育する。隔離分布して、本県が南限地にあたる。群生しているが、面積は狭い。生育環境の乾燥化で、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 九重火山群

分布域 北海道 本州(北～中部) 九州(大分)
千島, カムチャッカ

生育環境 低山地の湿原。

現状 湿原内の過湿な水湿地に生え、群生していて個体数はかなりみられる。生育地の一部は乾燥化し、生育状態が悪化している。

備考 北方寒冷地要素の植物で、隔離分布し、「九重火山群」は西南日本唯一の生育地で、分布の南限地となっている。

ノゲヌカスゲ

Carex mitrata Franch.
var. *aristata* Ohwi

カヤツリグサ科
Cyperaceae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 掲載なし

選定理由

県内分布 (豊後水道域)

分布域 本州(関東地方以西) 四国 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
朝鮮半島(南部) 台湾

生育環境

現状 「豊後水道域」の文献記録はあるが、その生育地は把握されていない。

備考 文献 [大井次三郎 : *Cyperaceae Japonica* 京都大学理学部紀要 (1975)]